

な るほど その10 本願寺

総門

現在地までに三度移築されています。一度目は蓮如上人450回忌の1898(明治31)年、二度目は親鸞聖人650回大遠忌を控えた1911(明治44)年。三度目は1959(昭和34)年に交通量の増加に対応した堀川通りの拡張が計画され、京都市の要請で現在地に移転しました。虹梁(こうりょう)に大柄な二組の蔓股(かえるまた)を配しています。2011(平成23)年に修復されました。



総門

©Hongwanji



本願寺伝道院

©Hongwanji

本願寺伝道院

1895(明治28)年4月に設立された真宗信徒生命保険株式会社の社屋として、東京帝国大学教授伊東忠太(いとうちゅうた)の設計、竹中工務店の施工により建築されたものです。様々な使用を経た後に「浄土真宗本願寺派布教研究所」となり、1958(昭和33)年、あそか診療所として1階の諸室が改修され使用されました。その後、「本願寺伝道院」となり僧侶の教化育成の道場として今日にいたっています。親鸞聖人750回大遠忌宗門長期振興計画の一環として、2010(平成22)年から2011(平成23)年にかけて修復されました。

しましたが、六月二十九日(金曜日)『イタリアン精進料理を頂く懇親の旅』(善教寺仏教婦人会主催)を企画しました。男性の方からお叱りを受けそうですが、ご婦人の方限定であります。そんな中、私が男一人お供して添乗員ばりに動き回りますので、ぜひ一緒に行きましょう。お楽しみに。



多くの参拝者で熱気溢れる本堂内



講師の足利先生

さて、仏婦総会でもご案内を

足利先生とのご縁は、私が学生の頃からなので、もう三十年にはなるでしょうか。年齢を感じさせない話術と元気なお声に、今年もパワーをもらったような感じです。

開催しました。法要前々日くらいから、いつも天気を心配するのですが、初日はあいにくの雨模様。しかし二日目には天気も回復し、多くの参拝者がお参り下さいました。

住職レター

今年も仏教婦人会報恩講並びに総会を無事に勤めることが出来ました。法要初日に仏婦故会員追悼法要を勤め、二日目には総会を



総会時の仏教婦人会役員